

松戸市9月議会が始まりました

今議会ではコロナ対策の第7次補正予算や昨年度の決算の審査が行われます。

コロナの収束が見通せないもとの開催のため、6月議会に引き続き、半数入れ替え制、質問・討論時間の短縮、換気の実施など様々な感染防止対策をとつての議会となります。質問・討論時間のさらなる短縮など感染防止への効果が疑問なものもありますが、これについては今後の課題となりました。

このような制限されたもとの議会ではありますが、市議団4名は全員が質問に立ちます。

国政では先日安倍首相の辞意表明がありました。「アベ政治」は終わりますが自公政権は続きます。本当の終わりは政権交代の実現です。市議団も市政を良くし、国政も変えていくため全力で頑張りますので、引き続きのご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

◆山口正子議員 9月4日(金) 11番目

一、交通政策について

(1) 既存バス路線の拡充についてバス事業者と協議等しているか。

(2) コミュニティバス導入の手引きについて

ア 導入の手引きで検討対象地域となっているのはどこか
イ 市から交通空白地域に説明に行くのは、空白地域の誰に、いつから開始するのか。

ウ 地域組織について、導入の予定ルート沿線の全ての地域を網羅するのか。また、予定ルート沿線の町会・自治会への働きかけに市はどのようにかかわるのか。

エ 今後、路線拡大によるコミュニティバスからコミュニティバスへの乗り継ぎや、コミュニティバスと路線バスの乗り継ぎでの運賃割引などは考えているか。

二、新型コロナウイルス感染防止対策について

(1) 市内のPCR検査の実施件数の現状と、今後の検査件数と検査箇所数の拡充をどう考えるか。

(2) 医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など集団感染のリスクが高い施設の職員等への定期的なPCR検査を行う考えはないか。

(3) 感染者が確認された施設のPCR検査は、濃厚接触者に限らず関係者全員を対象にできないか。

(4) 感染陽性者は医療機関へ受け入れ、軽症者はホテルなどへの保護の現状と今後について。

(5) 私立総合医療センターについて

ア 4・5・6月の収支状況と、国・県・その他からの経営支援の状況はどうなっているか。

イ 6月35床となっていた感染病床はその後どうなっているか。

ウ 感染者者に対応した医療従事者への手当と、心のケアはどうなっているか。

◆うつの史行議員 9月7日(月) 9番目

一、委託事業等について

委託費や指定管理料の人件費と労働者の待遇について

二、コロナ禍での市内事業者支援について

新型コロナウイルス対策売上回復支援補助金の支給状況について

三、市長の退職金支給をめぐる法令遵守のあり方に CSH

税法上様な調査・検討の結果、市長の退職金支給日は条例期日を超えることになったが、それらの調査・検討は市長の指示によるものであったか。

◆平田きよみ議員 9月7日(月) 11番目

一、生活保護政策について

(1) コロナ禍における実態と課題について
ア 昨年と比較して今年1月から7月の受給者数は相談件数は昨年と比較してどの程度増加しているか。また、その要因をどう認識しているか。

ウ 保護申請から認定までにかかる期間について

エ 申請者がまず関わる相談員の資格や身分・人数は

(2) 猛暑における生活保護世帯の実態について

ア 65歳以上の高齢者の人数と割合は

イ エアコンが設置されていない家屋に住んでいる世帯数と人数は

ウ 2018年3月31日以前の生活保護受給世帯にもエアコン代金や、設置費補助を国へ請求する考えはないか。

エ 電気代節約のためエアコン使用を控えることがないよう、夏季加算の創設を国へ要求する考えはないか

二、保育政策について

(1) コロナ禍における預かり保育の対応について

ア 緊急事態宣言との関連で登園自粛・休園中の保育の実態について

イ 平時預かり保育を実施している幼稚園で、夏休みなど長期休暇中の預かり保育を実施していない幼稚園の対応について

ウ コロナ禍において、児童は朝の送迎保育ステーションから幼稚園の預かり保育や教育など、1日に接触者が何人も変わる状況をどう考えるか。

(2) 保育政策における3歳児の問題について

ア 今年度小規模保育所25か所増設で、3歳以上児の受け入れ対策をどう考えているか。

イ 現在の3歳以上児の幼稚園や保育所等の入所人数と今後の予想は

ウ 今後は基本方向として、小規模保育所の増設ではなく、0歳から5歳児までの認可保育園増設を

